

# 附属施設

## 教育学部附属教職支援開発センター

所在地 高松市幸町1番1号

TEL：(087) 832-1683

本センターは、実践的指導力の向上及び教職支援体制の充実のため、学部と附属学校園、香川県教育委員会等と連携・協働して、実地教育及び教職支援、教育開発の推進的役割を果たすことを目的にして設置されています。

そのため、教育実習を軸に、1年次から4年次までの4か年を見通した実地教育の推進と、教職志望学生への支援（日常の支援・教採への支援・相談活動等）や現職教員への支援（研究交流会・講演会の開催・相談活動等）など教職支援の推進、附属学校園や県市教育関係機関との連携・協働による教育開発に関する研究の推進を行っています。

また、教育関係図書や教科書・指導書等を揃えて学生や教員の閲覧に供したり、指導教員を通してビデオカメラやプロジェクタ等の情報関連機器や視聴覚教材を学生に貸し出すなど、教育学部の教育実践が充実するよう便宜を図っています。



附属教職支援開発センター

## 教育学部附属学校園

### 1 附属高松小学校

所在地 高松市番町5丁目1番55号

TEL：(087) 861-7108

本校は、学校教育法に基づく小学校教育を行うほか、教育の実践的研究や教育実習を実施するなどの使命を担って設置されています。毎年2月上旬には、県内外から多くの参会者を迎え初等教育研究発表会を開催し、研究の成果を報告したり授業を公開し研究協議を行ったりしています。最近では、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を統合した「創造活動」と、本質的な学びを追求する「教科学習」の2領域を設定し、子どもの資質・能力が往還的に養われるカリキュラム開発の研究に取り組んでいます。また、隣接する園舎と幼小連携の研究も行っています。

### 2 附属坂出小学校

所在地 坂出市文京町2丁目4番2号

TEL：(0877) 46-2692

本校は、大正2年4月に香川県女子師範学校の代用附属校として開校しました。創立以来、県下の小学校教育の中心となって研究や実践を積んできています。毎年1月には教育研究発表会を開催し、県内外から多数の参会者を迎え、研究成果を公開しています。

実践的指導力をもった教育養成をねらい教育実習生の指導に取り組むとともに、幼・中・特支との連携した指導、「学習意欲」「思考力」「メタ認知」の育成、坂出高校教育創造コースとの連携を通して、目指す児童像「学びをつくる子ども」の育成に精力を傾けています。

### 3 附属高松中学校

所在地 高松市鹿角町394番地

TEL：(087) 886-2121

本校は、生徒の全人的な発達発育を期して中学校教育を行うとともに、実証的・実践的教育研究と教育実習の2つの機能を果たすことを目的としています。

教育研究では平成27年度から5年間文部科学省の研究開発学校の指定を受け、創造表現活動を中心とした新しい教育課程の構築を目指しています。教科学習の充実とともに、生徒を中心に据え、一人の学習者をどのように育成するのかについて研究をすすめています。

教育実習では実践的指導力を持った教員の養成を目指し、基本的な知識・技能を身に付けるために丁寧な指導を行っています。

### 4 附属坂出中学校

所在地 坂出市青葉町1番7号

TEL：(0877) 46-2695

本校は創立以来、教育実践研究に熱心に取り組み、多くの先導的な研究の成果をあげてきています。なかでも、昭和54年に文部省（当時）の研究開発学校に指定されて以来、生涯学習の視点に立ち、「モジュール学習」を基盤としたカリキュラムの開発を推進したことは、日本の教育界全般の知るところです。現在は、社会構成主義に基づく「ものがたり」の視点からのカリキュラムや授業の開発を行っています。また、平成30年度から文部科学省の研究開発学校の指定（4年間）を受け、「探究」をテーマにした研究を進めています。

## 5 附属特別支援学校

---

所在地 坂出市府中町字綾坂889番地

TEL：(0877) 48-2694

本校は、香川県の中心坂出市府中町に位置し、小学部・中学部・高等部からなる特別支援学校です。昭和40年に附属坂出小学校に特殊学級「南組」として創設。知的障害養護学校として昭和50年に発足し、現在地に移転しました。校訓である「自立」を目指し、個々の障害特性に応じた指導法の研究開発と、指導実践、また、障害のある子どもへの指導に携わることになる教育実習生への指導を核に教育活動を推進しています。

平成15年度からは、教育学部と連携のもと「特別支援教室すばる」を開設し、特別な支援を必要としているLD児やADHD児・アスペルガー症候群の子どもたちへの指導や教育相談を行っています。県内から多くの対象者を受け入れるなど、地域に貢献しています。

## 6 附属幼稚園

---

所在地 坂出市文京町1丁目9番4号

TEL：(0877) 46-2694

本園は坂出市文京町に位置する3・4・5歳児3学級の幼稚園です。昭和8年4月に、香川県女子師範学校に併設された附属幼稚園として開園しました。創立以来、先導的な研究に取り組み、その成果を公開研究会や紀要等で発表しています。実践的指導力をもった幼稚園教員養成をねらい、教育実習生の指導に取り組むとともに、「自ら環境に働きかけ意欲的に遊びに取り組み、自分の力で解決していける子ども」の育成を目指して教育を行っています。

## 7 附属幼稚園高松園舎

---

所在地 高松市番町5丁目1番55号

TEL：(087) 861-2393

本園は、学校教育法に基づく幼稚園教育を行うほか、教育の実践的研究や教育実習を実施するなどの使命を担って設置されています。毎年2月上旬には、多くの参会者を迎え初等教育研究発表会を開催し、保育の公開や研究成果の発表、研究協議をもつなどしています。また、「遊び」を通じた「学び」の様相を追及したり、幼小連携の一環として園児と小学校1年生の児童と一緒に活動する機会を設けたりするなど、日々の保育実践を基盤として教育の実践的研究を進めています。

## 医学部附属病院

所在地 香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1

TEL：(087) 898-5111(代表)

香川大学医学部附属病院は、昭和58年10月に香川県民の大きな期待のもとに“香川医科大学医学部附属病院”の名称で開院して以来、香川県の中核医療機関として先進的な移植医療や医療ITの活用などを積極的に推進して来ました。平成15年10月に香川大学と統合して現在の名称となり、平成25年に30周年を迎えました。開院以来の基本理念“患者さんの権利を尊重し、良質な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し医療の発展に寄与する。”を継承するとともに、新たに“ささえる、つながる、リードする。”とのキャッチフレーズを掲げました。これは、「患者さんや地域医療をささえ、大きな志と使命感を持つ医師・看護師そしてコ・メディカルが地域、国内そして世界の医療機関とつながるとともに、大学病院として医療をリードしていきたい」との思いを込めたものです。

本院は、病床数613床、32診療科、4中央診療施設、薬剤部、看護部その他特殊診療施設、及び卒後臨床研修センターなどを有する香川県唯一の「特定機能病院」、「大学病院」です。救命救急センター、総合周産期母子医療センター、がんセンターなどを配備するとともに、香川県災害拠点（地域災害医療センター）、県がん診療連携拠点、県エイズ治療拠点、県肝疾患診療連携拠点、県難病診療連携拠点認知症疾患医療センターなどの指定を受けて病院機能強化を進めてきました。本院で構築した情報基盤「かがわ遠隔医療ネットワーク（K-MIX）システム」は、教科書に掲載されるなど国内外から新しい医療システムとして注目されており、また高度な医療技術を活かすべく糖尿病克服プロジェクト「チーム香川」の運用をはじめ、各種疾患の地域連携パスを作成し、地域医療連携ネットワークを充実させつつあります。

また、本学医学部学生の医療実習に力を入れるため地域医療教育支援センターを設立し、卒後臨床研修センターによる研修医指導を一層充実させ、さらに専門医育成へとシームレスな臨床教育システムを構築しています。ほかに救急救命士の養成研修、看護学校、薬学部学生の実習なども県内外から積極的に受入れており、教育機関としても高い評価を得ています。さらに、国際医療標準の認定取得を視野に入れ、リサーチマインドをもった国際的医療人の育成にも積極的に取り組んでいます。

平成23年度から行われている病院再開発が平成30年度で終了しました。新しい病棟、新しい手術棟（ロボット手術室、血管造影ハイブリッド手術室、MRIナビゲーション手術室を備えています）、新しい外来、新しい中央診療棟。すべてが新しくなった香川大学医学部附属病院が最新の医療を安全・安心に県民に提供します。



医学部附属病院

## 創造工学部ものづくり工房

所在地 高松市林町2217番地20

TEL：(087) 864-2024

ものづくり工房は、ものづくり技術者を育てるための実践的な教育及び先端的な研究を行うことを目的として、林町キャンパス内に設置されました。2階建ての実験研究棟の1階と2階に分かれており、日常ものづくりのための工房3部屋（機械材料工房、デジタル工房、デバイス・材料工房）。先端ものづくりのための先端工房3部屋（RP室、回路製作室、MBE室）、管理のための事務室1部屋、会議室1部屋、資材部品庫1部屋が配置されています。主に、創造工学部学生・大学院生の教育・研究に使用する一方、外部の研究機関との共同研究や、小・中・高校生及び一般市民を対象にしたものづくり体験教室の場としても活用されています。



創造工学部ものづくり工房

## 農学部附属農場

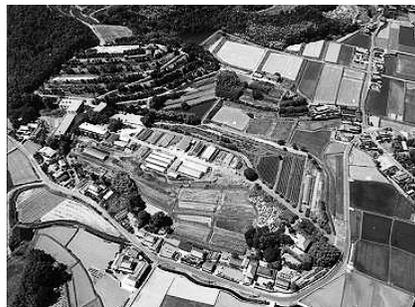
所在地 さぬき市昭和字谷乙300番地2

TEL：(0879) 52-2763

附属農場は、農学部から約6km離れたさぬき市昭和の北西部にあり標高100mの山の中腹部に位置する、面積約17万㎡の傾斜地農場です。

農学部における専門教育の一環を担う当農場は、農業生産に関する研究と実習教育に適した最良の場です。当農場では、学部での講義等から得た知識と理論に基づき、米麦、果樹、野菜、花卉の栽培、家畜の飼養、農業機械の操作等について、実習教育を行っています。この実践教育を通じて本来の農業技術を体得し、農学に関する理解と関心を深め、総合的に農業を把握することを目指しています。

また、当農場では、農作業の効率化、作物栽培、家畜の飼養、園芸作物の栽培・繁殖・育種等に関する研究が行われ、その成果が、実習教育に反映されています。



附属農場全景

## 瀬戸内圏研究センター庵治マリステーション

所在地 高松市庵治町鎌野4511番地15

TEL：(087) 871-3001

この施設は、四国の最北端の庵治半島先端に位置し、周辺には自然の砂浜や岩場があり自然環境にも恵まれており、本学における海に関する教育研究の前線基地となっています。そのために、調査艇“カラヌスⅢ”（19t）及び小型作業船“ノープリウスⅡ”（1.1t）が配備されています。また研究用機器として、各種海洋観測機器及び栄養塩、全窒素・リンなどの自動分析装置が備えられています。

同施設では、海の富栄養化、貧酸素水塊、養殖漁場環境、あるいは干潟域の環境等について研究を行っています。教員、学生は調査艇に乗船して海洋観測に出かけ、施設の各種分析機器を利用しています。また、創造工学部、農学部の臨海実験実習にも活用されています。



庵治マリステーションとカラヌスⅢ

## 博物館

所在地 高松市幸町1番1号

TEL：(087) 832-1300

博物館は、香川大学の教育・研究で蓄積された貴重な標本・資料・発明品などを収集・保管し、学内外に広く公開することを目的として、平成20年4月、幸町北1号館1階に開館しました。

岩石鉱物や動植物などの自然史標本、希少糖とその製造装置などの技術史資料の常設展示のほか、企画展を年に2回開催し、さらに特別展も開催しています。授業や実験・実習などでの利用以外にも、小・中・高校生や一般市民を対象にしたミュージアム・レクチャーや体験教室を開催するなど地域に開かれた場として活用されています。

開館は、火曜日から土曜日（祝休日、展示替え等の期間を除く）の午前10時から午後4時です。開館日・時間、展示内容などの最新情報についてはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.museum.kagawa-u.ac.jp/>



博物館



展示室